

事業報告書

ネパール音楽・上高地の夕べ

—ネパールの歌姫スンダリ・ミカ in 松本IV—

NPO 法人松本ヒマラヤ友好会(MHC)は、MHC 松本カトマンズ姉妹都市文化交流事業「ネパール音楽・上高地の夕べ」と題して、9月28日(土)夜に、日本名勝地上高地の松本市営上高地アルペンホテルに、ネパールの民謡歌手、スンダリ・ミカさんを松本に招待して、「ヒマラヤの風のように澄んだ歌声とダンサーによる踊り」を市民及び上高地へ訪れる全国の皆様に鑑賞して頂きました。



会場の様子



スンدارィ・ミカさん歌、笛とタイコの生演奏



ダンサーによる踊り

PM6:45、会場は1階のロビーに、即席の観覧席40席が設けられ、宿泊者及び外来者により席は、いつの間にか埋まり、理事長のあいさつの後、2人のダンサーの踊りと、笛、マダル等の生演奏による軽快なネパール音楽で始まりました。

ネパールの村々で行われる、春の田植えと秋の収穫への祈りと悦びの唄を、また、ネパールの各地域、各民族が歌う唄を、生演奏の音楽に乗せて、スンダリ・ミカさんが歌い、2人のダンサーの踊りが披露されました、まるで、ネパールの多様な民族の生活や文化を、分かり易く表情豊かに、立体的に表現しているようでした。

上高地の夜は、情緒豊かな笛の音に、歌声に、皆、酔いしれながら更けていきました。最終曲は皆が知っているレッサンピリリを歌い、ダンサーらと来場者も一緒に踊り PM8:45 終演と致しました。



ダンサーと観覧者も一緒に踊る



スンدارィ・ミカさん



翌日、上高地を散策する出演者ら

ご来場者の方々からは、「ネパールの笛、タイコ、鐘の音と心にしみる歌が今までのコンサートの中で一番上高地に似合っている。ネパールが身近になった気がします。」等との感想をいただきました。

この事業の実施によって、松本市と海外姉妹都市カトマンズへの相互理解発展と市民交流推進の一助となる事を期待しています。

平成25年11月6日

各 位

特定非営利活動（NPO）法人 松本ヒマラヤ友好会
理事長 鈴木雅則